

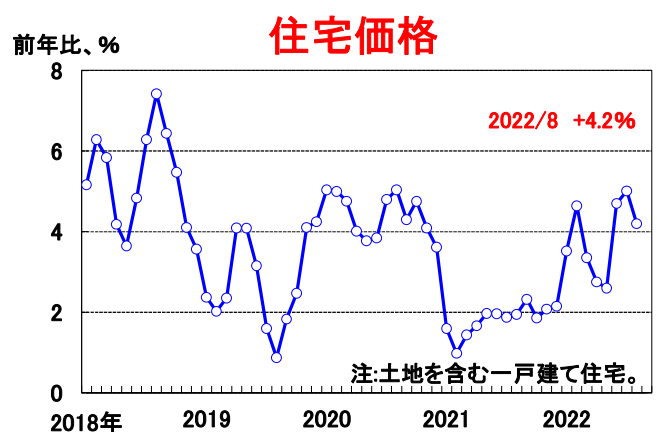
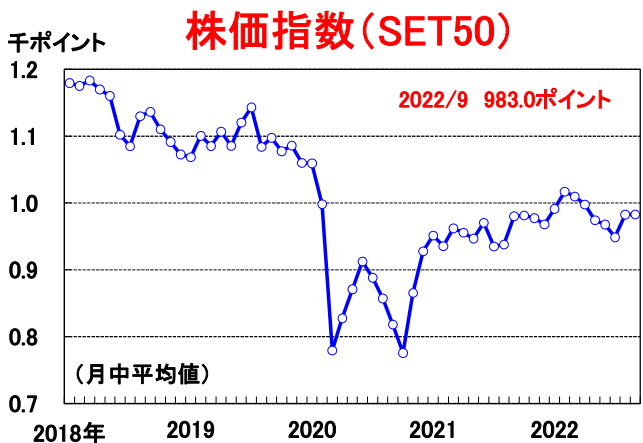
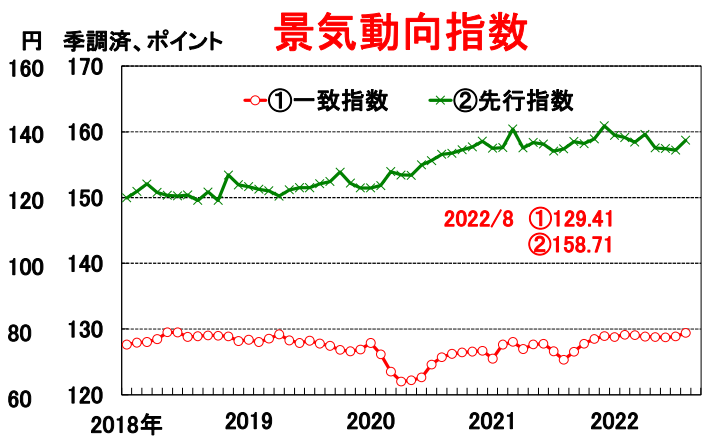
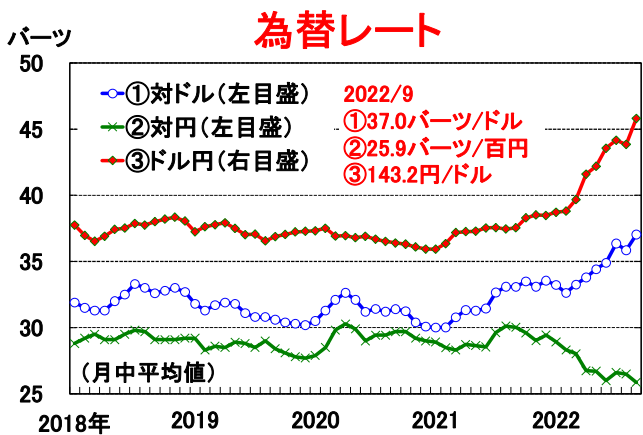
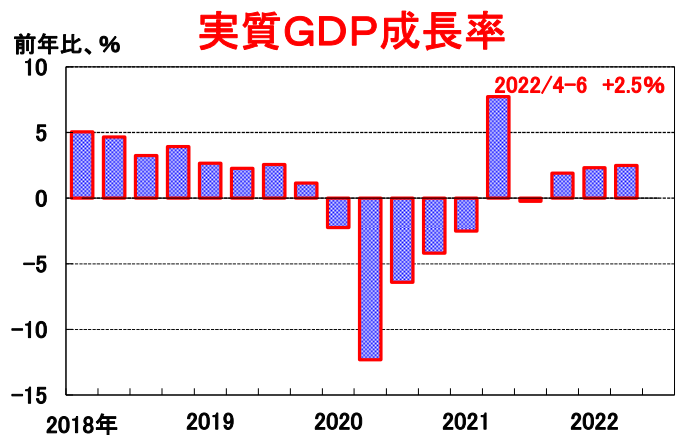
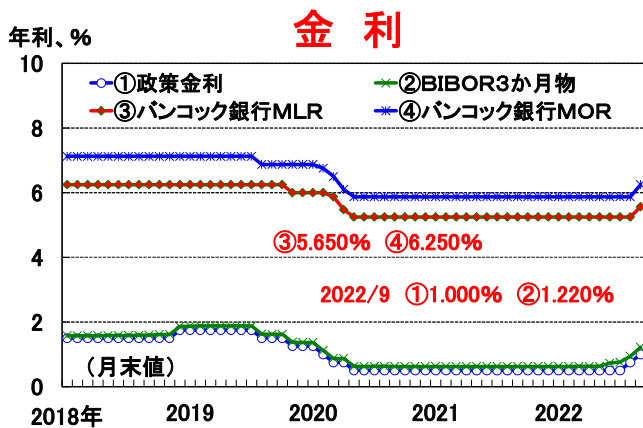
# グラフで見るタイ経済 2022年10月号(No. 160)

タイの景気は企業部門を中心に緩やかに回復している。まず、8月の輸出は前年比+7.5%と伸びが低水準ながら前月(同+4.3%)を上回った。内訳をみると、中国向けが2か月連続で大幅に減少したものの、米国向けが大幅に増加し、日本向けも3か月ぶりに増加した。また8月の工業生産指数は前月比+2.4%と3か月連続で上昇し、同月の民間投資指数も同+1.9%と再び上昇した。9月の製造業PMIも55.7と、「生産」と「新規受注」の堅調な増加により、中立水準(50)を大きく上回った。製造業の景況感は改善の動きが一段と鮮明になった。

### 【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↑	→	↑	→	↑	↑

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

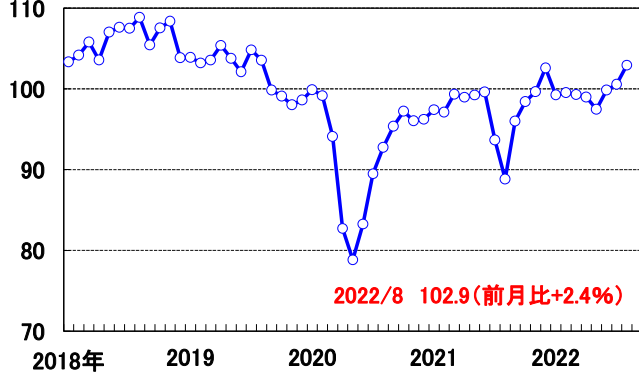


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

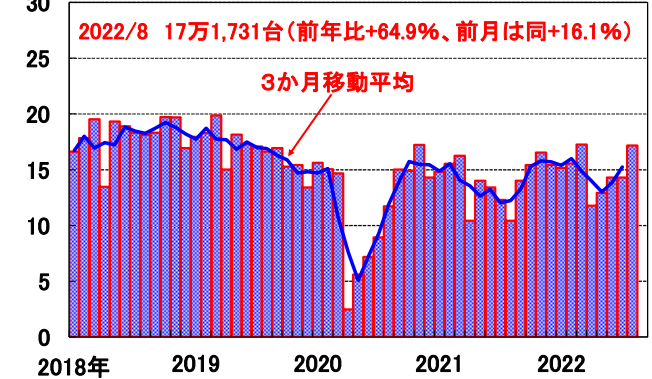
季調済  
2016年=100

### 工業生産指数



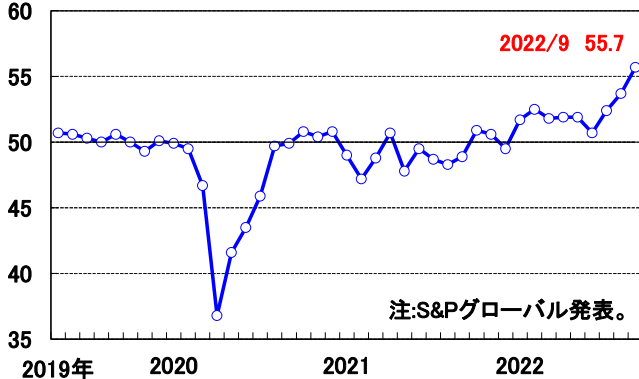
万台

### 自動車生産台数



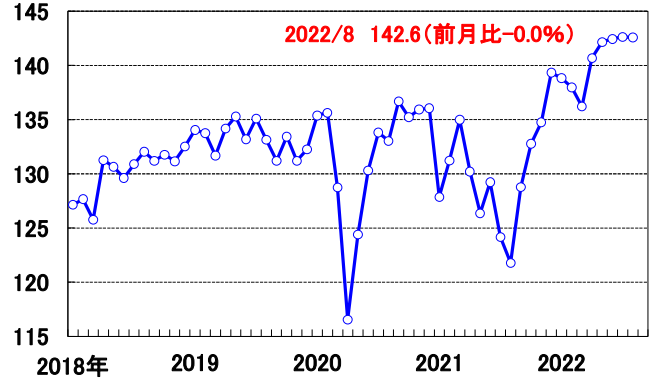
季調済  
中立水準=50

### 製造業PMI



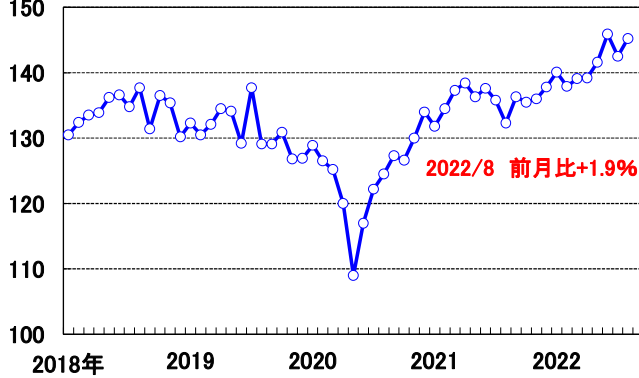
季調済  
2010年=100

### 個人消費指数



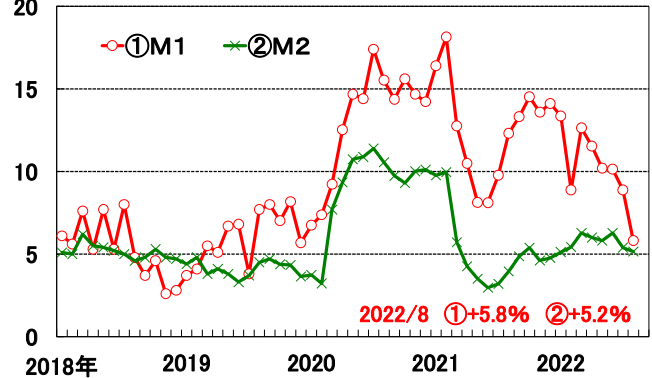
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



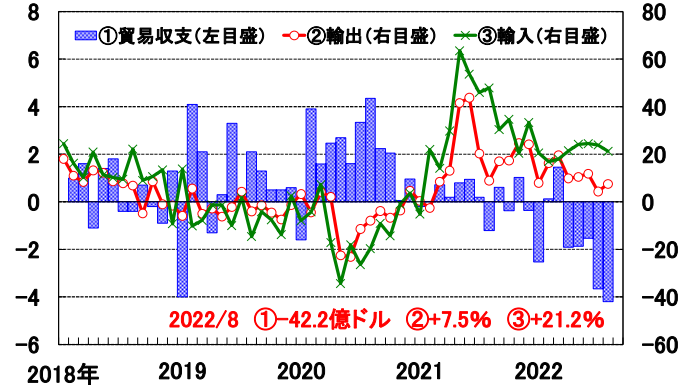
前年比、%

### マネーサプライ



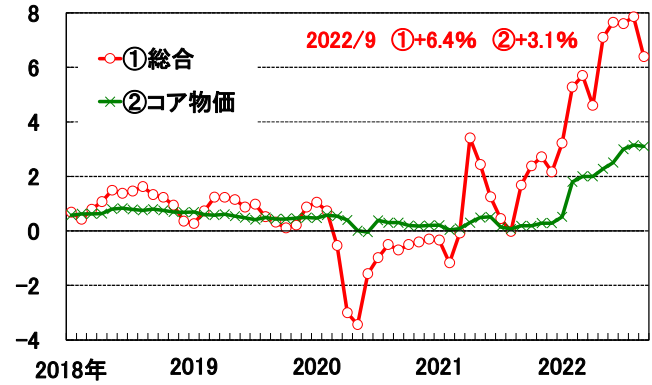
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。